

# The Research on the Koreans Brought to Japan in the Early Pre-Modern Period of Japan: Mainly on the Kaga Clan Case

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Tsuruzono, Yutaka, Kasai, Junichi, Nakano, Setsuko, Katakura, Minoru メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/45832">http://hdl.handle.net/2297/45832</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



1990年度科学研究費補助金（一般研究B）研究成果報告書  
課題番号01450051

# 日本近世初期における渡来朝鮮人の研究

—— 加賀藩を中心に ——

1991年3月

研究代表者：雀鳥 園 裕（金沢大学教養部）

日本近世初期における渡来朝鮮人の研究《正誤表》

頁	段	行	誤	正
扉一三八三	扉上下	四七五	大阪府立大学 大阪府立大学 依存することする (164, 1026) (090)	大阪府立大学 大阪府立大学 依存する (16, 31-78) (090-836)
三〇	上下	二五	十月廿日地日 □□権大属	十月廿七日 不破権大属
三〇	下下	二七	帳』(090/0/433) コピー	帳』(16, 31-45) (090/433) コピー

## 研究組織

研究代表者：鶴園 裕（金沢大学教養部助教授）

研究分担者：中野節子（金沢大学文学部助手）

片倉 穰（大阪府立大学総合科学部教授）

笠井純一（金沢大学教養部助教授）

## 研究経費

平成元年度：2,400千円

平成2年度：1,000千円

合 計：3,400千円

# 日本近世初期における渡来朝鮮人の研究

## ——加賀藩を中心に——

### 目 次

はじめに.....		1
近世初期渡来朝鮮人研究序説.....	鶴園 裕	3
——「少年捕虜」に関する覚え書き——		
加賀藩における渡来朝鮮人.....	片倉 穰	11
付、史料集	笠井純一	
加賀藩家臣団編成と脇田直賢（如鉄）.....	中野節子	65
家伝——金（脇田）如鉄自伝——.....	笠井純一	77
脇田如鉄関係史料集.....	笠井純一	101
東南アジア渡航朝鮮人に関する覚書.....	片倉 穰	175
——豊臣秀吉の朝鮮侵略より強制連行された朝鮮人と東南アジア——		
黒本稼堂筆『朝鮮李東郭 観文堂額由来記』双巻.....	片倉 穰 笠井純一	187
伊藤幸野著『正徳和韓唱酬録』.....	片倉 穰	195
* * *		
日本近世初期渡来朝鮮人一覧稿.....		後 1
都府県別アンケートの結果一覧.....		後 9

## はじめに

本報告書は、一九八九年、九〇年の両年度にわたって、文部省の科学研究費の補助を受け、一般研究（B）として行われた「日本近世初期における渡来朝鮮人の研究——加賀藩を中心に——」をまとめたものである。研究は鶴園裕（金沢大学教養部・朝鮮文化）を代表者とし、中野節子（金沢大学文学部・日本近世社会経済史）、片倉穰（大坂府立大学総合科学部・ベトナム近代史）、笠井純一（金沢大学教養部・日本古代政治史）を研究分担者として研究組織を構成し、月一回ペースの研究会や、全国の県立図書館等を対象とした近世初期渡来朝鮮人の関連資料残存の有無に関するアンケート調査、加賀藩との比較を目的とした北九州ならびに南九州地方への調査旅行などを行った。

このテーマに関しては、既に内藤雋輔氏が、昭和四〇年度（一九六五）の科学研究費によって九州地方を中心とした「被擄人資料探訪記」という調査報告書を作成され、その報告を含む『文禄慶長役における被擄人の研究』（一九七〇）という大著が著されている。本報告の前提となる研究会は、このような研究史をふまえ、加賀藩の脇田家に伝わった「家伝」と呼ばれる金（脇田）如鉄の伝記の読書会から出発した。この伝記は、豊臣秀吉の朝鮮侵略に際して七才で捕虜となり、日本に永住した人物の自伝として希少の価値を持つものであることを認め、笠井氏にきわめて詳細な異本との校合を含むテキストの校註本を作成して頂いた（本報告書に収録）。さらにはこのような近世初期の渡来朝鮮人が、日本の近世的秩序、ひいては東アジアの近世的秩序の中でどのように位置づけられるのかということの検討を試みようとした。この点ではきわめて不十分なものに終わったが、今後の問題提起のための端緒とすることで責めをふせぐことができるならば幸いである。

一九九一年二月六日

代表者、記す

日本近世初期における渡来朝鮮人の研究

——加賀藩を中心に—— 《研究成果報告書》

一九九一年三月一五日発行

著者

鶴園 裕  
中野 節  
片倉 穰  
笠井 純

920 金沢市丸の内一番一号  
金沢大学教養部内

印刷所 高島印刷株式会社